

竹山木管楽器製作所

大型リコーダーのオリジナルブランドを確立 国際市場でシェア獲得を目指す

事業内容

機械と職人の技に頼る生産

ヨーロッパの楽器のひとつである木製リコーダーの製作・販売・メンテナンスを手掛けている同所は、50年前に独自開発した機械装置と職人たちの手作業を組み合わせた「半手づくり」という、世界でも類を見ない生産体制を有している。

もともとは紡績機械に使う「ボビン」(糸を巻きつける木製の芯)を製作しており、その製作に使用する刃物も自前で作っていた経緯があるため、この技術を応用してリコーダー製作に欠かせないリーマーや特殊なバイトの開発を行い、同事業を立ち上げた。

木管楽器のリコーダーは、完成までに50もの工程を要する。楽器特有の繊細な音色を生み出すためには、職人の感性も大切な要素となる。特に音を聞きながら調整して仕上げていくヴォイシングは、音色の異なりでリコーダーの個性を決める。こうした複雑な作業と手間を掛けて完成した同所の木製リコーダーは、国内だけでなく、ドイツ、イギリス、アメリカ、韓国、台湾にも販路を広げている。

補助事業

新商品の開発と設備投資

同所が製作する木製リコーダーは、高級品でも普及品でも手づくりの部分の手間はほとんど変わらないため、普及品の原価率が高くなってしまふ。また、機械装置は経年劣化による不具合がたびたび起こるようになり、その都度生産を中断し、部品交換・修理を経て調整しなければならず、時間と費用が嵩んでいる。安定した製作と生産効率向上のためには、手づくり工程である切削加工の一部を見直し、指孔切削加工機とリーマー類の導入が必要である。

また、世界に4社しかないテナーリコーダーとバスリコーダーの大型楽器市場への参入を果たすため、指孔を塞ぐためのキーシステムや、息を送り込む補助パイプの新たな試作・開発に、堺市と東大阪市の町工場の技術を結集して共同で取り組み、大阪ブランドの新キーシステムを製造したいと考えている。

さらに、職人の耳だけに頼らない、より正確な音程と音色を保証する新チューナーや、これまで同所代表にしかできなかった刻印や熟練職人だけが担ってきた切削技術を他の職人に移行できるレーザー加工機の導入など、品質を高めるための設備の充実も求められる。ヨーロッパブランドに勝る製品づくりを実現し、大型楽器を加えたタケヤマリコーダーの新シリーズを打ち出して国際市場獲得を目指す。

成果

大型楽器の生産体制を確立

同所はこれまで50年間にわたり、OEMで大型楽器の製作をしてきた経緯がある。しかし、キーシステムもパイプもOEM先から支給されており、独自に改善することが許されなかったため、同所が目指す高品質のテナーリコーダーやバスリコーダーを作ることができず、オリジナルブランドにすることもできなかった。

そんな同所の課題であった大型楽器の製作に不可欠な新キーシステムとパイプは、堺市のネジメーカーとの共同開発によって試作製造に成功した。併せて、新しい形状の外観を専門家も交えて設計し、その設計に合う内径の製品を製作するためのリーマーと、多種多様な指孔を加工するために指孔加工機をオーダーメイドで製造。さらに2台の新チューナーを導入して、新設計による楽器開発のための細やかな音程調整が若手職人でも正確に行えるようになった。一方、外観の塗装やボディカラーも刷新し、世界中のプロリコーダー奏者やアマチュア奏者にクオリティーの高い大型楽器を提供できる体制が整った。

価格が高く、メーカーも少ない大型楽器市場への参入が実現し、今までにない優れた大型楽器の完成によって国際市場でのシェア獲得を目指す同所は、こうして安定した経営基盤を築くことができた。

今後の展開

日本、そして世界での「タケヤマリコーダー」のブランド力向上に期待

今回開発した大型リコーダーは既に日本国内だけでなく、海外からも引合いが来ており、大型楽器開発の成功によって、竹山ブランドの知名度の大幅な向上が期待できると同所では考えている。ブランド力が向上することによって、これから開発する製品の種類や販路なども従来以上の広がりをみせるだろう。

また、ブランド化に伴い製品力・開発力が向上すれば、雇用の幅も広がり、それが若手作家の育成につながると同所は期待している。

「今回開発した大型楽器は、リコーダーがさらに魅力的な楽器として確立するために必要なものであり、これによって次世代の愛好家や演奏家、製作者を増やすきっかけにしたいです」と、代表の竹山宏之氏は、「リコーダーという楽器の世界」の活性化に意欲をみせる。



代表 竹山 宏之

今回の補助事業は、課題となっていたオリジナルブランド開発に着手しようというきっかけとなり、本当に感謝しております。

今までにない優れた大型リコーダーを完成することができました。今後は「タケヤマリコーダー」のブランド化、販売を強化していくとともに、若手製作者の育成につなげていきます。

竹山木管楽器製作所

代表 竹山 宏之
大阪市住之江区安立3-8-12
TEL：06-6678-1000
〈資本金〉—
〈従業員〉5人
<http://www.takeyama-recorder.jp/>

